

営農経済部 稲作 特別情報

管内 18 地区の定点圃場にて、分けつ、草丈などの生育状況、病害虫の発生状況などを重点に調査を行った“水稲生育状況調査”結果を提供しますので、ご活用ください。

先日の台風9号の暴風雨でかん水被害、倒伏の被害を受けた圃場では、病気の発生に注意してください。今週も降雨が続く日が予想されます。

田の見回りは、**安全を確保して**行うようにしましょう！！



◆ トビイロウンカ について(令和3年8月12日現在)

JA 広島市管内では、**トビイロウンカの飛来は未確認。**

※引き続き、今後の動向に注意し、株元を中心に観察を行ってください。



◆ 穂いもちについて

7月19日の特別情報(vol.6)でも、**いもち病**の情報を掲載しましたが、長雨による**穂いもち**の発生が懸念されます。
特に、まだ出穂していない中生品種は、注意をしてください！

<防除>

稲の収量や品質に大きな影響を与えますので、
「令和3年 JA広島市稲作ごよみ」を参考にし、
基本防除の「出穂前防除」「穂ぞろい期防除」を徹底しましょう！

穂いもちは、各発病部位によって、呼び方が異なります



【穂首いもち】

穂首部を侵されたものを**穂首いもち**といい、**いもち病**の中で、**最も大きな被害**となります。出穂期に穂首が感染し、**褐色**となり、**白穂**となります。

【枝梗いもち】

枝梗いもちは、節が感染しやすく、**紫黒色**から**灰白色**に変色します。初期の場合は、枝梗全体が**白穂**となります。

【粃いもち】

ないえい がいえい

粃いもちは、内穎より外穎で多く、また粃の先端付近から発病することが多くあります。出穂後、間もない粃では、**緑色**から色が抜け、**白褐色**となり、**不稔実**になります。

【節いもち】

節いもちは、葉節部が感染すると**黒くくぼんだ病斑**が現われ、のち節全体が**黒く**変色し、折れて倒状しやすくなります。